

第 50 回記念上越市美術展覧会 第 2 回運営委員会

次 第

日時 令和 2 年 11 月 30 日 (月)
午後 2 時から
会場 高田城址公園オーレンプラザ
会議室

1 開 会

2 議 題

○ 第 50 回記念上越市美術展覧会について (案)

- ア 会期と会場等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 1
- イ 展示レイアウトについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 2
- ウ 50 回記念賞の位置づけについて・・・・・・・・・・・・・・・・P. 6
- エ その他

3 閉 会

上越市美術展覧会運営委員名簿

【任期：令和元年5月27日～令和3年3月31日】

部 門	出欠	氏 名(敬称略)	役職等
日本画 部門	出	洞谷 亜里佐	上越教育大学 教授
	出	小林 充也	日展会友
洋画・版画 部門	出	筑波 進	日本美術家連盟会員
	出	五十嵐 正	市展無鑑査
彫刻・立体造形 部門	出	松尾 大介	上越教育大学 准教授
工芸・ グラフィックデザイン 部門	欠	大藏 豊彦	日本工芸会正会員
	出	兪 期天	上越教育大学 助教
書道 部門	欠	押木 秀樹	上越教育大学 教授
	出	山田 真一	久比岐野書道会 会長
写真 部門	出	藤野 正二	日本写真協会会員
	出	関 敏雄	市展無鑑査
学識経験者	出	齋藤 祐介	新潟日報社 上越支社長

第 50 回記念上越市美術展覧会

第 2 回運営委員会 会 議 資 料

会期と会場等について（案）

1 会期

令和3年10月2日（土）～10月10日（日）（9日間）

※10月11日（月）は本来スポーツの日（祝日）であるが、東京オリンピック延期に伴い、7月23日に移動するため、会期に含めない。

※会期中の10月5日（火）は高田城址公園オーレンプラザの休館日にあたるが、市展の会期中のため、ホール等使用する部屋については開館するよう調整する。

2 会場

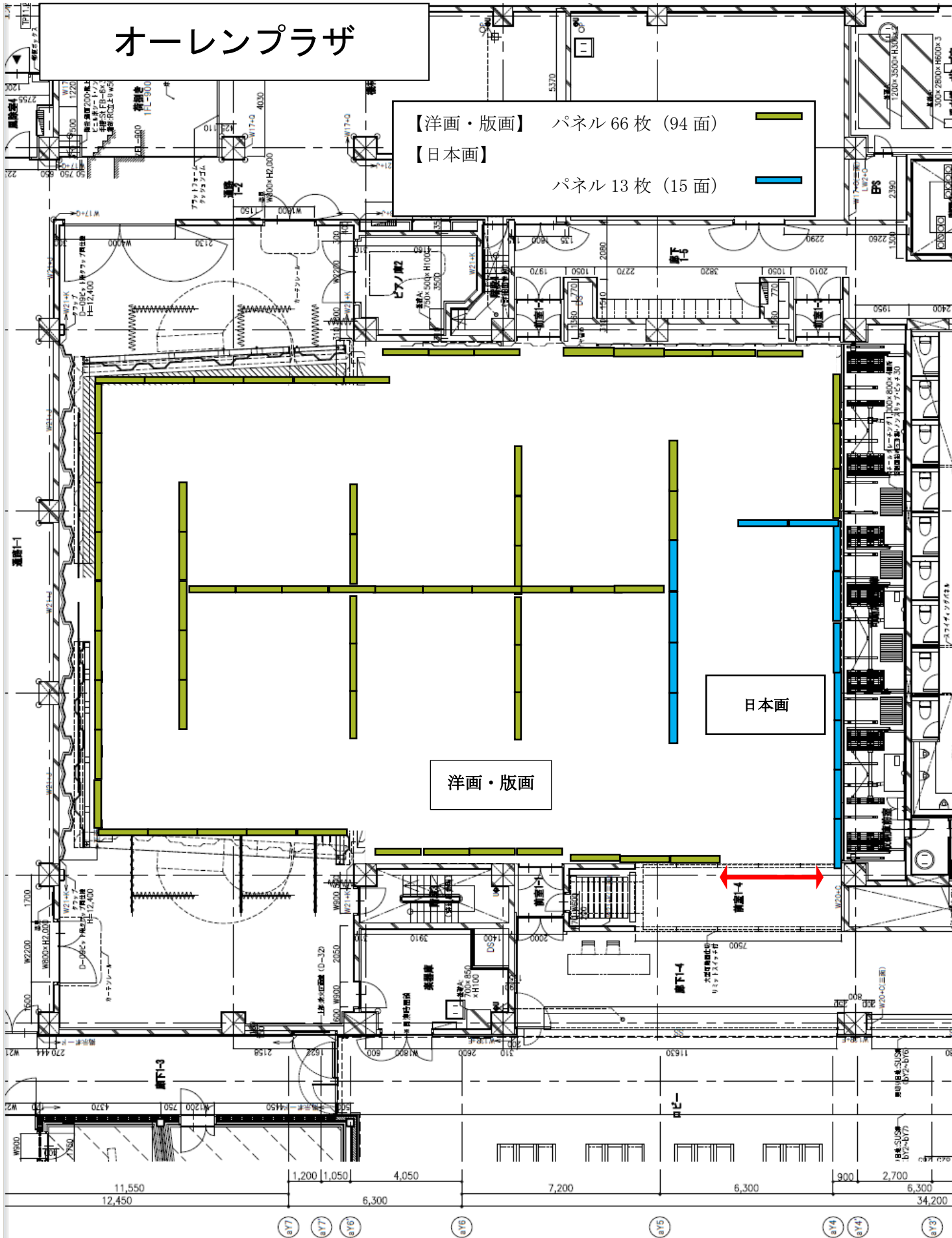
高田城址公園オーレンプラザ、ミュゼ雪小町

3 展示会場

施設	部屋名	第50回（案）	第49回
高田公園 オーレンプラザ	ホール	日本画 洋画・版画	日本画 洋画・版画 工芸・グラフィックデザイン 彫刻・立体造形
	スタジオ	特別展示	
	研修室・会議室	工芸・グラフィックデザイン 彫刻・立体造形	
ミュゼ雪小町	ギャラリー	書道	書道
	A・B・C	写真	写真
	多目的室	写真	写真

4 作品審査

令和3年9月25日（土）



ミュゼ雪小町

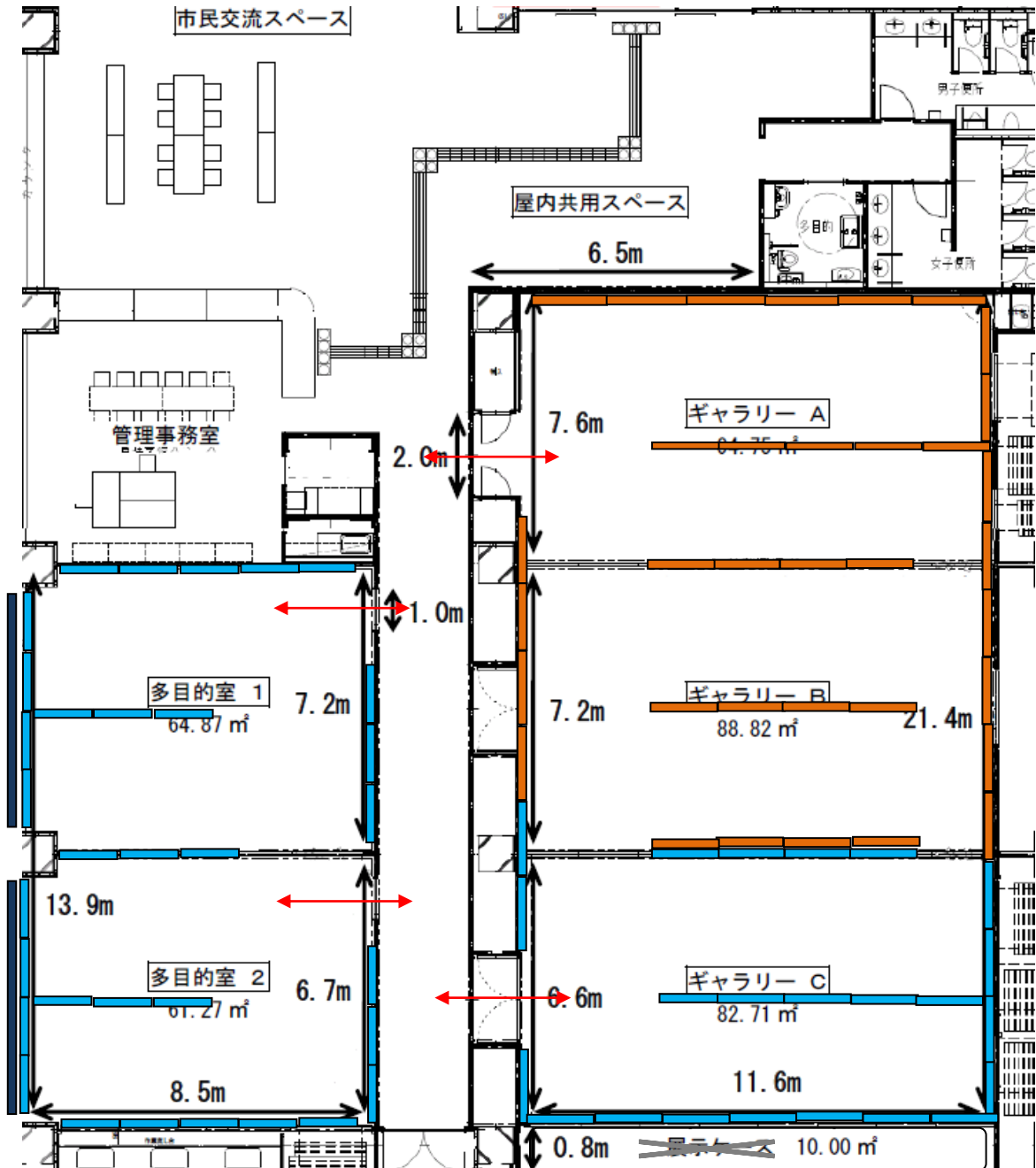
 書道

展示パネル 50枚 (ギャラリー)

 写真

展示パネル 58枚 (ギャラリー)

※多目的ホールは、出品状況に応じ使用



35面 (180cm×120cm パネル換算)

77面 (可動式パネル換算)

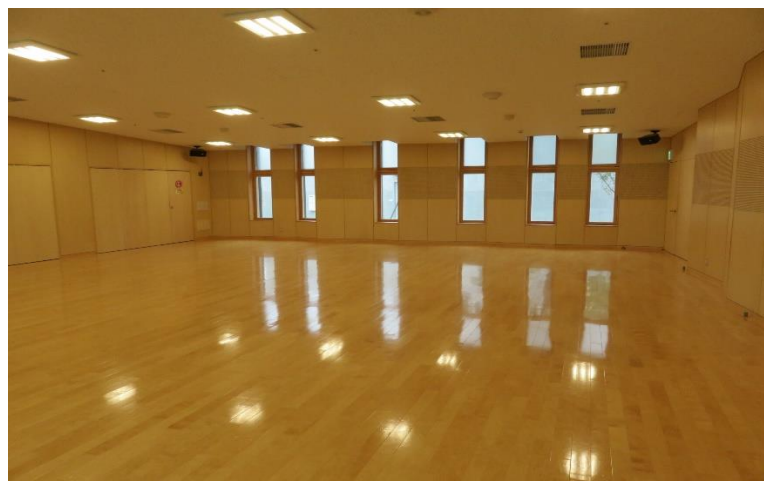
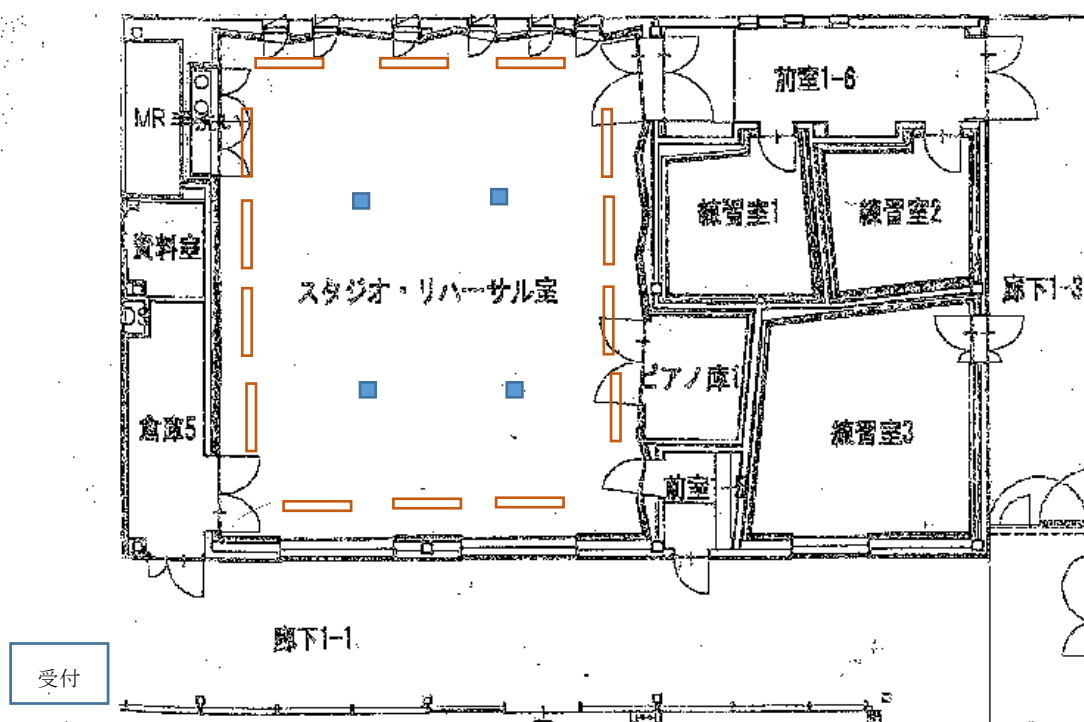
70面 (可動式パネル)

9面 (展示ケース前有孔パネル)

スタジオのレイアウト図

特別展示会場（審査員・運営委員作品）パネル14枚、首台4台

- ・158 m²、定員100人 ・ピクチャーレールなし
- ・土足禁止のため、土足用フロアシート敷設
- ・縦 約12m60cm / 横 約10m30cm
- ・内扉が内開きのために、扉の周囲に展示できないスペース一部あり。

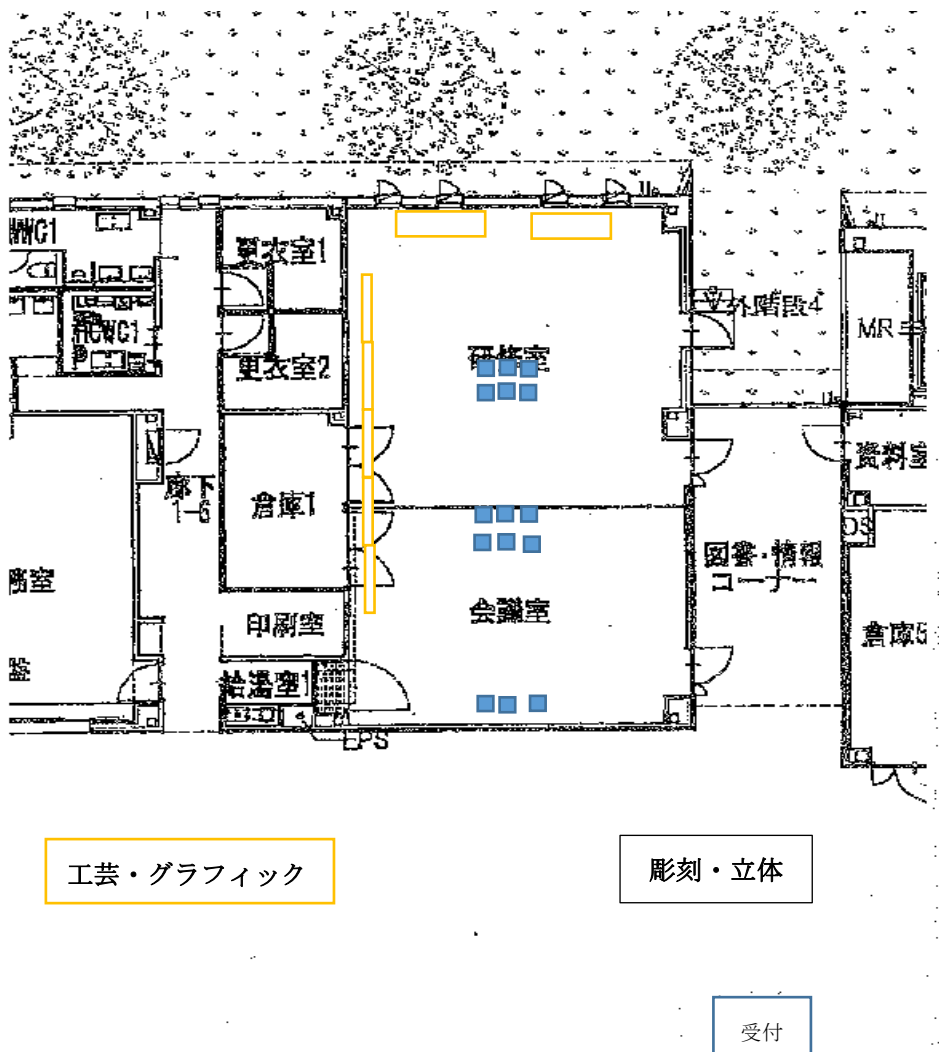


研修室・会議室のレイアウト図

工芸・グラフィックデザイン パネル5枚・展示台2台（前回作品数31点）

彫刻 首台15個（前回作品数13点）

・107 m²、定員53人 ・ピクチャーレールあり（耐荷重15kg） ・土足可



50 回記念賞の位置づけについて

～これまでの経緯～

○50 回記念企画検討委員会での結論

- ・賞の位置づけ：
市展賞を最高賞としつつ、優秀賞と同格の賞として 50 回記念賞を新設する。
 - ・副賞及び記念品：
優秀賞同様、2 万円と楯を用意する。
- #### ○令和 2 年度の予算査定結果
- ・賞金の伴う賞の新設は認められないとされた。

～変更後の内容～

○令和 3 年度案

- ・賞の位置づけ：
50 回記念ということを印象づけることから、市展賞に 50 回記念の冠を付し、「50 回記念市展賞」という名称とする。
- ・副賞及び記念品：
副賞は 3 万円とし、記念品は楯に代えてグレードの高いクリスタル賞牌とする。(予算要求中)



クリスタル賞牌イメージ（参考）